

	号外	定価 1部2円	確定闘争ヤマ場の 11月2日地公共 闘人事課長交渉。 賃金改善に向け大 型ハガキ署名の取 り組みに結集を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

## 2022確定闘争① 10.27地公共闘・人事課長交渉

# 怒 自転車・バイク「手当引下げ」の姿勢!?

## 給与改定 国の給与法改正を注視し対応 通勤手当 ガソリン価格反映も区分見直し検討 大型ハガキ署名に結集し、全職員の声を届けよう!

10月27日、岩手県地方公務員共闘会議（議長：佐藤 工 岩教組委員長）は、2022 確定闘争における知事あて要求書を加藤人事課総括課長に提出し、現時点の姿勢を質すべく交渉を行った。交渉結果は次のとおり。

【交渉結果】給与改定に関し、「人事委員会勧告を最大限尊重。年内の条例改正と差額支給は、国の給与法改正の動向も注視しながら対応」との回答にとど



加藤人事課長（右）に要求書を手交



回答を求める地公共闘交渉団

まった。交渉団から、確実な給与改善と、年内での差額支給を強く要請した。

通勤手当は「実費弁償という性格を考慮し、今般のガソリン価格を手当額に反映する」とした一方で、「交通用具



回答する加藤人事課長

ごとの燃料費の負担状況を鑑み、手当額を交通用具ごとに区分する方向で検討中」とあらたに提案。自転車とバイク利用者は、実質的に手当額引下げとなることから、交渉団は、到底納得できるものではないとし、次回、具体的な内容の提示と、再考を求めた。

県人勧尊重も、給与改定は国動向を注視との姿勢に固執し、通勤手当等も職員の負担解消の要望に対し、新たな引下げ提案を行うなど、極めて不十分な姿勢に終始した。地公共闘は11月2日ヤマ場交渉に向け、知事あて大型ハガキ署名の取り組みに全力をあげる。組合員の声を結集し、前進回答を求めていく（裏面に続く）。



改善を訴える岩教組

## 1 月例給・一時金の改定

- (地公共闘) 給与改定の実施と、年内の条例改正・差額支給を。  
(人事課長) 県人勸を最大限尊重して決定していく考えに変わりはない。国の給与法改正の動向を注視しながら対応。  
(地公共闘) 確実なプラス改定と早期実施を強く求める。

## 2 会計年度任用職員の一時金

- (地公共闘) 人事委員会報告で言及された会計年度任用職員の一時金の取扱いは。  
(人事課長) 期末手当に係る人事委員会報告を踏まえ、昨年度における本県の取扱い等も勘案しながら、会計年度任用職員の給与改定方針について検討中。  
(地公共闘) 次回交渉時に改定時期等、具体的内容の提示を。



再考を求める岩企労

## 3 通勤手当

- (地公共闘) 人事委員会報告でガソリン価格の動向を踏まえた手当改定の必要性について触れられたが、当局の見解は。  
(人事課長) 遠距離通勤者の負担軽減は重要な課題と認識。これまでの改正経緯からすると、県内ガソリン価格は、前回改定時からの上がり幅は相対的に小さい。しかし、通勤手当の持つ実費弁償を考慮し、今般のガソリン価格を手当額に反映する。その中で、自動車やオートバイ、自転車の交通用具ごとの燃料費の負担状況、他県の状況等踏まえ、手当額を交通用具ごとに区分する方向で検討中。  
(地公共闘) 手当額を交通用具ごとに区分するとは、手当額の引下げの検討か。  
(人事課長) 自動車は引上げ、オートバイや自転車は、ガソリン高騰との連動も一部あるが、今の交通事情に鑑みて適当なのか検討している。他県等でも分けているところがほとんど。本県も区分を分け、金額については考えていく。  
(地公共闘) ガソリン価格の上がり幅は小さいとのことだが、今年状況は過去に比べて高いという認識。物価上昇がどのように通勤手当に反映されているのか示せ。  
(人事課長) 通勤手当は、一定のルールで支給する必要がある。また、他県の状況等も



見解を述べる人事課長

勘案し、県民の理解が必要。ガソリン価格は、今までは平均単価で40円程度の上げ下げの段階で改定してきたが、今回は平均20円程度の差だが、ガソリン価格が高騰している状況から、勤務実態を見ながら通勤手当の引き上げについて判断したところ。また、通勤手当の在り方について、今回改めてオートバイ、自転車の在り方について、他県を参考にしながら進めているところ。

(地公共闘) 人勸で示されておらず、当然納得できるものではない。新たな提案と受け止めざるを得ない。次回交渉時まで、具体的内容を示せ。

上記のほか、「再任用職員を含めた高齢層職員の処遇改善」、「人材確保に向けた専門職員の処遇改善」、「長時間労働の是正策（勤務時間管理の徹底・適切な人員配置）」、「休暇取得しやすい職場環境の整備」等も交渉し、次回交渉に向けて改善を求めた。